



平成20年8月8日

各位

会社名 シダックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 志太 勤一
(J A S D A Q コード番号 4837)
問合せ先 取締役 経理財務本部長 兼 IR担当
宮川 聡男
(TEL : 03-5784-8909)

会社名 大新東株式会社
代表者名 代表取締役社長 玉山 雅之
(J A S D A Q コード番号 9785)
問合せ先 常務取締役 佐藤 亮
(TEL : 03-5445-1700)

シダックス株式会社による大新東株式会社の株式交換による完全子会社化について

シダックス株式会社（以下、「シダックス」といいます。）及び大新東株式会社（コード番号：9785 JASDAQ 以下、「大新東」といいます。）は、本日開催の各社の取締役会において、平成20年10月22日を期して、下記のとおり株式交換（以下、「本株式交換」といいます。）により大新東をシダックスの完全子会社とすることを決議し、株式交換契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

なお、大新東の株式は、本株式交換の効力発生日に先立ち、株式会社ジャスダック証券取引所（以下、「ジャスダック証券取引所」といいます。）において上場廃止となる予定です。

記

1. 株式交換による完全子会社化の目的

(1) 本株式交換の目的

平成20年5月30日付の「大新東株式会社株式等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」（以下、「公開買付けの開始に関するお知らせ」といいます。）の「1. 買付け等の目的」でお知らせいたしましたとおり、シダックスは大新東の完全子会社化を目指して、平成20年6月2日から平成20年7月14日まで、大新東の発行に係る株式及び新株予約権を対象とする公開買付け（以下、「本公開買付け」といいます。）を実施いたしました。その結

果、本日現在、シダックスは大新東の発行済株式91,174,413株（大新東の発行済株式総数に占める所有割合で97.54%、議決権割合で97.54%（注））を保有しております。

現在大新東の成長分野である社会サービス事業においては、民間企業のニーズが増加傾向にあるほか、官公庁や地方自治体の行財政改革の進展によるコスト削減のためのアウトソーシングへのニーズは急拡大しております。しかしながら、お客様ニーズの高度化や、同業他社や地場中小事業者の乱立による競争の激化もまた急速に進行しております。このようなアウトソーシング事業を取り巻く急速な環境の変化に対応しつつ、目指す業績の向上を確実なものとするためには、大胆かつ有効な経営資源の投入による競争力の強化が必要であるところ、直近1年間の大新東の企業価値向上に貢献してきた現状の資本業務提携の枠組みのみでは限界があり、全国各地の官公庁や地方自治体のニーズを捉える、きめ細かな情報ネットワークの構築や多様な人材の確保、全国の営業現場の急速な状況の変化に機動的かつ迅速に対応できる体制作り等が急務となっております。このような環境下において、シダックスは、「公開買付けの開始に関するお知らせ」にも記載のとおり、大新東の営業部門の強化・特化を図るべく、全国的な営業ネットワークを持つシダックスとのシナジー効果を最大化し、大新東において、大胆な事業基盤の整備のための一層機動的な経営体制を構築するためには、大新東を完全子会社化することが最善であるものと考えております。

また、大新東も、平成20年5月30日付の「当社株式等に対する公開買付けに関する賛同意見表明のお知らせ」に記載のとおり、シダックスの完全子会社として、シダックスグループとの一体化によるメリットを最大限享受することが、大新東の企業価値向上の実現のための最善の方策であると考えております。

以上の理由から、両社は、本公開買付けによりシダックスが大新東の発行済株式の全てを取得できなかった場合には、「公開買付けの開始に関するお知らせ」においても触れておりましたとおり、株式交換を実施し、本公開買付けに応募されなかったシダックスを除く全ての大新東株主に対し、シダックス株式を交付することを予定しておりました。

かかる経緯を踏まえ、本日、シダックス及び大新東は、平成20年10月22日を効力発生日として、本株式交換を行うことを決定し、株式交換契約を締結いたしました。

（注）シダックスの保有する大新東の株式に係る議決権の数911,744個の、大新東の平成20年3月31日現在の発行済株式総数（93,478,502株）から同日現在の大新東が保有する自己株式数（90株）を控除した株式数に係る議決権の数（934,784個）に占める割合として算出しております。なお、小数点以下第三位を四捨五入しております。

（2）上場廃止となる見込み及びその事由

本株式交換により、その効力発生日である平成20年10月22日をもって、大新東はシダックスの完全子会社となり、大新東株式は平成20年10月16日付で上場廃止（最終売買日は平成20年10月15日）となる予定です。上場廃止後はジャスダック証券取引所において大新東の株式を取引することはできません。

なお、本株式交換の対価であるシダックスの普通株式は、ジャスダック証券取引所に上場されておりますので、大新東株式を197株以上保有する株主に対しては本株式交換後についても、割り当てられるシダックス株式について引き続き株式の流動性を提供できるものと考えております。大新東株式を197株未満保有する株主においては、割り当てられる

べきシダックス株式について1株に満たない端数が生じます。かかる端数の取り扱いについては、2. (2) (注3) をご参照ください。

(3) 株式交換比率の公正性を担保するための措置

株式交換比率については、前述のとおり大新東の総株主の議決権の97.54%をシダックスが保有していることから、その公正性・妥当性を確保するため、両社は後記2. (3) でご説明いたしますとおり、それぞれ別個に、両社から独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼することとし、その算定結果の提出を受けました。両社は、かかる算定結果、本公開買付けの公開買付価格、本公開買付けに対する応募状況並びに両社の財務状況に加え、本株式交換により大新東がシダックスの完全子会社となることにより生じるシナジー等についても総合的に勘案し、協議・検討した上で、大新東の株式価値を本公開買付けの買付価格と同額の1株あたり257円、シダックスの株式価値を1株あたり50,392円と評価し、本株式交換における株式交換比率を合意いたしました。かかる株式交換比率は、上記第三者算定機関により算定された評価レンジに整合するものです。

なお、シダックス及び大新東は、上記第三者算定機関より、合意された株式交換比率がそれぞれの株主にとって財務的見地より妥当である旨の意見書(フェアネス・オピニオン)は取得しておりません。

(4) 利益相反を回避する措置

大新東の取締役会長志太勤一氏、常務取締役小柴宏美氏、取締役志太勤氏、遠山秀徳氏、大原登志氏及び宮川聡男氏は、シダックスの取締役を兼務しており、取締役藤田一郎氏はシダックスから派遣されておりますので、利益相反を回避する観点から、大新東取締役会における本株式交換の審議及び決議には参加しておらず、また、大新東の立場においてシダックスとの協議及び交渉に参加しておりません。更に、大新東の監査役である重泉良徳氏及び日吉敬三氏は、シダックスの監査役を兼務しておりますので、利益相反回避の観点から、大新東取締役会における本株式交換に関する審議に参加して意見を述べることを差し控えております。

2. 株式交換の要旨

(1) 本株式交換の日程

臨時株主総会基準日公告 (大新東)	平成 20 年 7 月 16 日 (水)
臨時株主総会基準日 (大新東)	平成 20 年 7 月 31 日 (木)
株式交換決議取締役会 (両社)	平成 20 年 8 月 8 日 (金)
株式交換契約締結	平成 20 年 8 月 8 日 (金)
株式交換承認臨時株主総会 (大新東)	平成 20 年 9 月 18 日 (木) (予定)
上場廃止日 (大新東)	平成 20 年 10 月 16 日 (木) (予定)
株式交換の日 (効力発生日)	平成 20 年 10 月 22 日 (水) (予定)
株券交付日	平成 20 年 12 月上旬 (予定)

(注) 本株式交換は、シダックスについては、会社法第 796 条第 3 項の規定に基づき簡易株式交換の手続きにより、株主総会の承認を得ないで行われます。

(2) 本株式交換比率

会社名	シダックス (完全親会社)	大新東 (完全子会社)
株式交換に係る割当の内容	1	0.0051
株式交換により発行する新株式数	普通株式：7,356株（予定） 上記に加えて、シダックスは本株式交換に際して、その保有する自己株式4,393株を株式交換による株式の割当てに充当します。	

(注 1) 株式の割当比率

大新東の株式 1 株に対してシダックスの株式 0.0051 株を割当交付します。ただし、シダックスが保有する大新東株式 91,174,413 株については、本株式交換による株式の割当は行いません。

(注 2) 本株式交換により交付する株式数等

シダックスは、本株式交換の前日の最終の大新東の株主名簿（実質株主名簿を含みます。）に記載又は記録された株主（実質株主を含みます。但し、シダックスは除きます。）に対し、大新東の普通株式に代わり、その保有する大新東の普通株式の数の合計数に 0.0051 を乗じた数のシダックスの普通株式を交付します。なお、大新東は本株式交換の効力発生日の前日までに、平成 20 年 9 月末時点において保有する自己株式に相当する数の自己株式を全て消却する予定です。（平成 20 年 7 月末現在で大新東が保有する自己株式は 283 株です。）

(注 3) 1 株に満たない端数の取扱い

本株式交換にともない、シダックスの 1 株に満たない端数の交付を受けることとなる株主においては、会社法第 234 条第 1 項の規定により、その端数の合計数（その合計数に 1 に満たない端数がある場合は切り捨てるものとします。）に相当するシダックス株式を売却し、その端数に応じてその代金を当該株主に交付します。

(3) 本株式交換比率算定の考え方

① 算定の基礎及び経緯

本株式交換の株式交換比率については、その公正性・妥当性を確保するため、各社がそれぞれ別個に、両社から独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼することとし、シダックスは大和証券エスエムビーシー株式会社（以下、「大和証券エスエムビーシー」といいます。）を、大新東は高野総合会計事務所を、それぞれ第三者算定機関として選定しました。

大和証券エスエムビーシーは本株式交換に先立って行われた本公開買付けの事実、諸条件、結果等を分析した上で、シダックスについては、シダックスがジャスダック証券取引所に上場しており、市場株価が存在することから市場株価法（売買状況等を勘案し、平成20年7月7日から平成20年8月6日までの1ヶ月間、平成20年5月7日から平成20年8月6日までの3ヶ月間及び平成20年2月7日から平成20年8月6日までの6ヶ月間の各期間のVWAP（出来高加重平均株価）、終値平均値並びに平成20年7月7日から平成20年8月6日までの1ヶ月間における終値の最大値及び最小値）を採用して算定を行いました。

大新東については、将来の事業活動の状況を評価に反映するため、ディスカунテッド・キャッシュフロー法（以下、「DCF法」といいます。）を、また、大新東がジャスダック証券取引所に上場しており、市場株価が存在することから市場株価法（売買状況等を勘案し、平成20年7月7日から平成20年8月6日までの1ヶ月間、平成20年5月7日から平成20年8月6日までの3ヶ月間及び平成20年2月7日から平成20年8月6日までの6ヶ月間の各期間のVWAP（出来高加重平均株価）、終値平均値並びに平成20年7月7日から平成20年8月6日までの1ヶ月間における終値の最大値及び最小値）を採用して算定を行いました。なお、シダックスの1株あたり株式価値を1とした場合の各算定手法の評価レンジは以下のとおりとなります。

採用手法	株式交換比率の評価レンジ
市場株価法	0.0031～0.0052
DCF法	0.0038～0.0051

なお、大和証券エスエムビーシーは、株式交換比率の算定に際して、両社から提供された情報及び一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、それらの資料及び情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。また、両社とその関係会社の資産または負債（偶発債務を含みます。）について、個別の各資産及び各負債の分析を含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておらず、第三者機関への鑑定または査定の依頼も行っておりません。

一方、高野総合会計事務所は、本株式交換に先立って行われた本公開買付けの事実、諸条件、結果等を分析した上で、大新東については、将来の事業活動の状況を評価に反映するためDCF法を主として採用し、大新東がジャスダック証券取引所に上場しており市場株価が存在することから市場株価法（売買状況等を勘案し、平成20年7月7日から平成20年8月6日までの1ヶ月間、平成20年5月7日から平成20年8月6日までの3ヶ月間及び平成20年2月7日から平成20年8月6日までの6ヶ月間の各期間のVWAP（出来高加重平均株価）、平成20年7月7日から平成20年8月6日までの1ヶ月間における終値の最大値及び最小値）も採用して株式価値の評価を行っております。シダックスについては、ジャスダック証券取引所に上場しており市場株価が存在することから市場株価法（売買状況等を勘案し、平成20年7月7日から平成20年8月6日までの1ヶ月間、平成20年5月7日から平成20年8月6日までの3ヶ月間及び平成20年2月7日から平成20年8月6日までの6ヶ月間の各期間のVWAP（出来高加重平均株価））を採用して株式価値の評価を行っております。

ます。

高野総合会計事務所は、各算定手法による評価結果に基づき、大新東の株式1株に対するシダックスの株式の割当株数を以下のように算定し、その結果を大新東に提出いたしました。

採用手法	株式交換比率の評価レンジ
市場株価法	0.0039～0.0051
DCF法	0.0042～0.0054

なお、高野総合会計事務所は、株式交換比率の算定に際して、両社から提供された情報及び一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、それらの資料及び情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。また、両社とその関係会社の資産または負債（偶発債務を含みます。）について、個別の各資産及び各負債の分析を含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておらず、第三者機関への鑑定または査定の依頼も行っておりません。

シダックス及び大新東は、上述の第三者算定機関から提出を受けた株式交換比率の算定結果、本公開買付けの公開買付価格、本公開買付けに対する応募状況並びに両社の財務状況に加え、本株式交換により大新東がシダックスの完全子会社となることにより生じるシナジー等についても総合的に勘案し、協議・検討した上で、大新東の株式価値を本公開買付けの買付価格と同額の1株あたり257円、シダックスの株式価値を1株あたり50,392円と評価し、本株式交換における株式交換比率を合意いたしました。かかる株式交換比率は、上記第三者算定機関により算定された評価レンジに整合するものです。

なお、上述の第三者算定機関が提出した株式交換比率の算定結果は、本株式交換における株式交換比率の公正性について意見を表明するものではありません。

② 算定機関との関係

大和証券エスエムビーシー及び高野総合会計事務所のいずれも、シダックス及び大新東の関連当事者には該当いたしません。

(4) 株式交換完全子会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

大新東は、本株式交換によりシダックスが大新東の発行済株式（シダックスが保有する大新東株式を除きます。）の全部を取得する時点の直前時までに、株主総会における本株式交換に係る議案の承認を経た上で、大新東の発行している新株予約権の発行要項に従い、その全部を無償で取得し、消却いたします。なお、大新東は新株予約権付社債を発行しておりません。

3. 株式交換当事会社の概要

平成20年3月31日現在

(1) 商号	シダックス株式会社 (完全親会社)	大新東株式会社 (完全子会社)
(2) 主な事業内容	子会社への経営指導および間接業務の受託（持株会社） 子会社を通じて以下の事業を展開 エスロジックス事業、コントラクトフードサービス事業、メディカルフードサービス事業、レストランカラオケ事業、コンビニエンス中食事業、スペシャリティーレストラン事業、トータルアウトソーシング事業	自家用自動車管理事業、社会サービス事業及び建設・不動産事業
(3) 設立年月日	平成13年4月2日	昭和37年2月16日
(4) 本店所在地	東京都調布市調布ヶ丘三丁目6番地3	東京都港区芝三丁目14番2号
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 志太 勤一	代表取締役社長 玉山 雅之
(6) 資本金の額	10,781百万円	100百万円
(7) 発行済株式総数	401,831.62株（平成20年8月8日現在）	93,478,502株（平成20年8月8日現在）
(8) 純資産	25,613百万円（連結）	5,338百万円（連結）
(9) 総資産	103,432百万円（連結）	18,000百万円（連結）
(10) 事業年度の末日	3月31日	3月31日
(11) 従業員数	12,645名（連結）	5,927名（連結）
(12) 主要取引先	シダックスフードサービス(株) シダックス・コミュニティー(株) エス・ロジックス(株)	エムシー・エネルギー 共立(株) 大起建設(株)

(13) 大株主及び持株比率	志太ホールディングス(株)	30.30%	シダックス(株)	52.65%	
	(株)志太起業研究所	8.81%	カレイドDST(有)	29.81%	
	(株)シダ・セーフティ・サービス	8.40%	三井住友海上火災保険(株)	2.34%	
	志太 勤一	5.18%	ゴールドマン・サックス・インターナショナル (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	0.94%	
	志太 勤	4.65%	日本マスタートラスト信託銀行(株)	0.82%	
	ステート ストリート バンクアンド トラストカンパニー (常任代理人 (株) みずほコーポレート銀行兜町証券決 済業務室)	2.08%	明壁 義蔵	0.70%	
	志太 正次郎	1.50%	(株)損害保険ジャパン	0.65%	
	日本マスタートラスト信託銀行(信 託口)	1.06%	(株)三井住友銀行	0.57%	
	日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	1.04%	バンクオブニューヨークヨーロッパ リミテッドルクセンブルグ131800 (常 任代理人 (株)みずほコーポレート銀行 兜町証券決済業務室)	0.56%	
	志太 富路	0.94%	第一生命保険相互会社	0.46%	
	(14) 主要取引銀行	(株)三井住友銀行 (株)みずほコーポレート銀行 (株)三菱東京UFJ銀行		(株)三井住友銀行 (株)みずほ銀行 (株)三菱東京UFJ銀行	
	(15) 当事会社間の関係等	資本関係	シダックスは、平成20年8月8日現在、大新東の発行済株式総数の97.54% (91,174,413株) を所有しております。(注)		
		人的関係	平成20年8月8日現在、大新東の取締役6名はシダックスの取締役です。 シダックスの従業員15名は大新東に出向しております。 シダックスの従業員6名は大新東の100%子会社の大新東ヒューマンサービス株式会社に出向しております。		
取引関係		シダックスは大新東に対して ・ 設計監理の受託 ・ 建設工事の委託 ・ 自動車管理の委託 ・ 人材派遣の委託 を行っております。			
関連当事者への該当状況		大新東はシダックスの連結子会社であるため、関連当事者に該当します。			

(注) 本公開買付けにより、本日現在、大新東の発行済株式の総数に占めるシダックスの持株比率は、97.54% (議決権比率で97.54%) となっております。なお、小数点以下第三位を四捨五入しております。

(16) 最近3年間の業績

【連結】

決算期	シダックス株式会社 (完全親会社)			大新東株式会社 (完全子会社)		
	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期
売上高 (百万円)	157,950	175,150	226,072	33,300	35,315	36,815
営業利益 (百万円)	6,359	7,908	11,209	3,502	3,625	3,650
経常利益 (百万円)	6,022	7,939	10,667	3,180	3,589	3,658
当期純利益 又は当期純損失 (百万円)	607	1,527	△10,039	8,635	2,619	2,179
1株当たり 当期純利益 又は当期純損失	1,427.33円	4,331.76円	△26,224.65 円	79.44円	24.09円	23.31円
1株当たり 年間配当金	1,500円	1,500円	1,500円	3.00円	3.00円	3.00円
1株当たり 純資産額	82,912.39 円	86,128.32 円	58,674.84 円	66.67円	36.94円	57.11円

【単体】

決算期	シダックス株式会社 (完全親会社)			大新東株式会社 (完全子会社)		
	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期
売上高 (百万円)	6,899	7,320	7,829	29,420	30,349	30,370
営業利益 (百万円)	2,104	2,934	2,515	3,051	3,487	3,528
経常利益 (百万円)	2,319	2,958	2,312	2,855	3,561	3,632
当期純利益 又は当期純損失 (百万円)	1,703	1,752	△16,235	8,250	2,608	2,168
1株当たり 当期純利益 又は当期純損失	4,579.60円	4,969.07円	△42,408.84 円	75.90円	23.99円	23.20円

1株当たり 年間配当金	1,500円	1,500円	1,500円	3.00円	3.00円	3.00円
1株当たり 純資産額	103,010.77 円	106,478.35 円	61,633.82 円	62.96円	32.51円	52.57円

4. 株式交換後の状況

(1) 商号	シダックス株式会社
(2) 主な事業内容	子会社への経営指導および間接業務の受託（持株会社） 子会社を通じて以下の事業を展開 エスロジックス事業、コントラクトフードサービス事業、 メディカルフードサービス事業、レストランカラオケ事業、 コンビニエンス中食事業、スペシャリティーレストラン事 業、トータルアウトソーシング事業
(3) 本店所在地	東京都調布市調布ケ丘三丁目6番地3
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 志太 勤一
(5) 資本金の額	10,781百万円
(6) 総資産	現時点では確定しておりません。
(7) 純資産	現時点では確定しておりません。
(8) 事業年度の末日	3月31日

(9) 会計処理の概要

本株式交換は、共通支配下取引等のうち、少数株主との取引に該当する見込みです。本公開買付け及び本株式交換により発生するのれんは連結で約95億円を見込んでおります。

なお、発生したのれんは20年間の定額法により償却を行う予定です。

(10) 今後の見通し

本公開買付け及び本株式交換により今期発生するのれんの償却は連結で約2億円を見込んでおります。

なお、のれんの償却がシダックスの平成21年3月期の通期連結業績見込みに与える影響は軽微であります。

以 上